

GCC 諸国におけるイスラム銀行業の費用効率性

国際協力機構 上山 一

イスラム銀行業を対象とした実証分析、とりわけその費用構造について分析を行った研究は少なく、また、イスラム銀行業の費用効率性に対する評価には統一した見解が得られていない。本報告では、GCC 諸国に展開するイスラム銀行の経営効率性について取り上げる。本報告は、以下の内容から構成される。

①先行研究を概観し、研究上の課題を指摘する。次に、②本発表での推定モデルおよび推定方法について説明を行う。③記述統計から得られる特性について整理した後、得られた推定結果からイスラム銀行業の費用効率性について考察を試みる。推定結果より、規模の経済性については、概ね GCC 諸国のイスラム銀行は規模の経済性を享受していることが示された。しかし、範囲の経済性については、イスラム金融業務とその他の収益との間に範囲の経済性が検出されたものの、全般的には、GCC 諸国のイスラム銀行が金融業務の多角化による範囲の経済性を十分に享受しているとは判断できなかった。最後に、③今後の課題を指摘する。